

ドッジボール通信

フレンドリードッジ “TOKUMA”

1. フレンドリードッジ “TOKUMA” の理念と方針

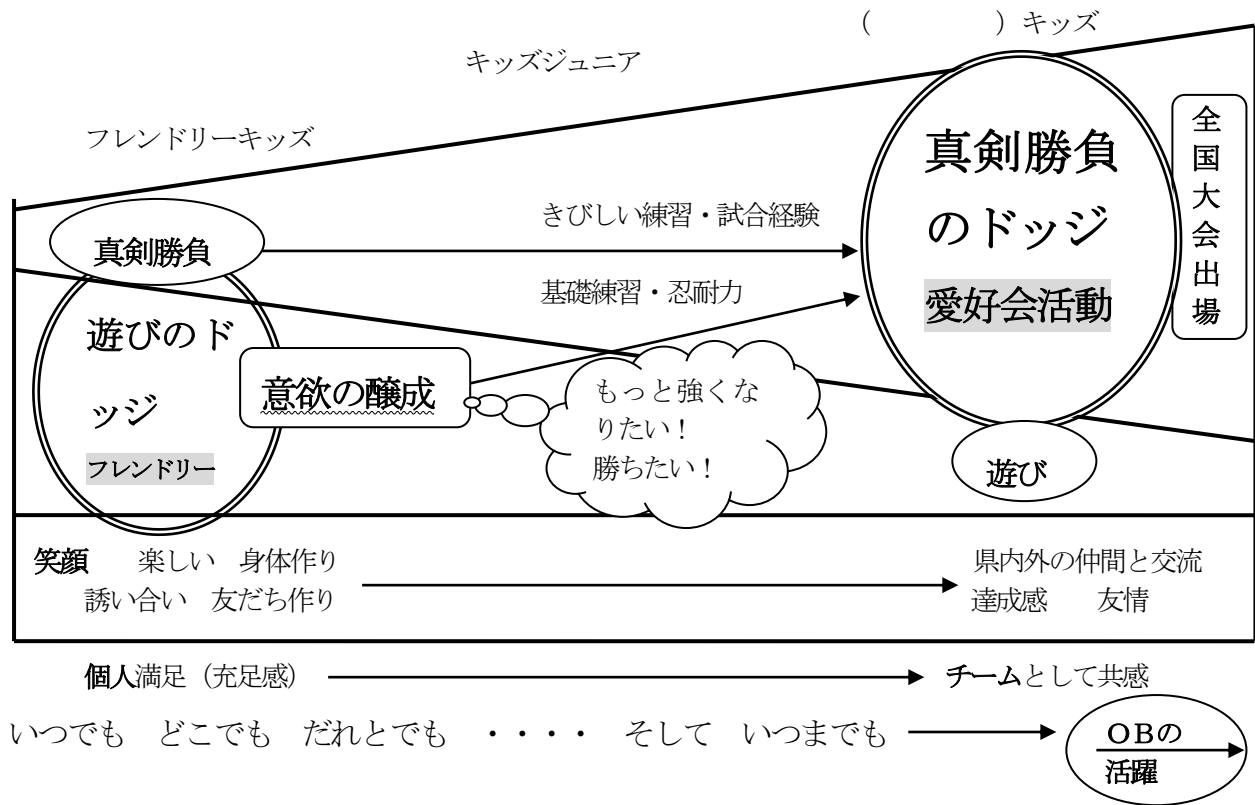
- ① 身体作りと友だち作り
 - ・みんなでドッジボールを楽しむ
 - ・心身の健康
- ② 親子で成長
 - ・まず明るいあいさつ。親子の会話。

JDBAの願う子ども像

- ① 進んでプレー (自主性)
- ② 努力する (向上心)
- ③ 自分のことは自分で (自己責任)

ルールの3本柱

2. スポーツ少年団の全体像



3. チーム編成と指導者

- ・キッズジュニア
 - 6年 (1名)、5年 (2名)、4年 (1名+愛好会5名)、3年 (選抜)
 - 監督コーチ ()
- ・フレンドリーキッズ
 - 3年 (8名)、2年 (選抜)
 - 監督コーチ ()

※選手の選抜基準…練習への姿勢・意欲、ボールを怖がらない、基本動作、ルール習得。

4. 愛好会練習の見学・体験

- ・愛好会練習 火・木 5:15~7:15 土 1:00~5:00
- ・現在、3年生、2年生それぞれ数名が体験練習に参加している。

5. 今後の予定

10月1日(日)	ケイケン大会	ホワイトリング	ブライト、キッズjr、フレンドリーキッズ
10月28日(土)	NAGANOリーグ2nd	信州新町	フレンドリーキッズ
11月19日(日)	ジュニア大会(ちびっこ)	信州新町	キッズjr(3.4年)、フレンドリー(1.2年)
12月9日(土)	らいちょう杯D2	東御市	キッズjr
12月24日(日)	NAGANOリーグ3rd	信州新町	ブライト、フレンドリーキッズ
1月14日(日)	オープン大会		キッズjr
1月27日(土)	NAGANOリーグFinal	信州新町	フレンドリーキッズ
3月10日(日)	さよなら大会	長野運動公園	フレンドリーキッズ
	フレンドリー卒団式	公民館	
3月20日(水祝)	あすなろ大会	長野運動公園	新キッズジュニア、フレンドリーキッズ

6. その他

- ・ケガや病気の対応 サポート隊
- ・子ども同士のケンカやトラブル
- ・SNS使用やLINEグループ活用の注意点
フレンドリーのグループLINEは全体連絡のみ。
- ・学校教育ではなく「社会教育」・・・体育館は学校から借りている。
学校の備品は使わない。石廊下は土足厳禁。
- ・靴の履き間違い、忘れ物
- ・自宅の近所でキャッチボール?・・・県協会より注意あり

【対外試合に出掛けた時の交通費】

- ・20kmを超える会場まで選手を輸送した場合
- ・自家用車1台あたり経費・・・片道距離×20円×2(往復)+高速代金
- ・全体の経費を家庭数で割り算して1家庭の負担額を決めます

【保護者の皆様の声】

- ・子どもが町のドッジボール大会に参加して楽しかった、やってみたいと言って入会した。気持ちの浮き沈みがあって、ぐだっとなってしまうことがある。落ち込んでしまい行動できないこともある。どうしたらいいか。
- ・自分自身が小学生の時、徳間ドッジの選手としてプレーしていた。人生、戻れるなら4年生の頃に戻りたい。自分の子どもには強制はしたくないがドッジボールで活躍する姿を見たい。
- ・チームは子どもありき。愛好会存続のために協力したい。
- ・子どもは1年生だが半年たった今、真剣にがんばってドッジボールをやっている。
- ・3兄弟の一番上。社交的な性格なのにドッジでは逃げてばかり、人の陰に隠れている。調子に乗りすぎる時もある。1人で体育館にいるのがいやだと言うので、母が付き添っている。
- ・自分は東信地域のチームでドッジボールをやっていた経験がある。厳しい監督だったが楽しかった。
- ・火曜日に愛好会の練習に参加している。上手な子のプレーを見るのが楽しいらしい。〇〇コーチが投げ方を教えてくれた…と喜んでいる。
- ・大会の時に送迎できず、他の保護者の皆さんにお世話になっている。感謝している。
- ・2年生になって、やる気が出てきた。
- ・みんなができるのに自分はできない、悔しい…と言っている。
- ・健康のためにドッジボールを始めた。楽しくできれば良い。指導者の皆さんの熱心さに驚いた。資格のあるコーチに教えてもらえて嬉しい。愛好会へ入会したい。
- ・行きたくないと言ったことはない。1回でもキャッチできればいい。
- ・サッカーをやりたいと言っていたが、ドッジボールを始めた。
- ・兄もドッジボールをやっていて、兄の姿を見ながら成長している。キャッチしたよ、アタックしたよ、と家でよく話している。火曜日に愛好会の練習に参加している。
- ・強くなりたいではなく、ドッジボールを楽しんでいる。
- ・小学生でバスケ、中学でバレーをやって来た。当時から徳間ドッジが強いと聞いていた。ブライトキッズの選手が保護者にあいさつをしている姿に感動した。本人はスイミングもやっていて忙しいががんばっている。
- ・誘っていただいて良い経験をしていると思う。楽しめている。大会で送迎してもらえて有り難い。
- ・体調が悪くて休むこともあるが楽しくやっている。先日の大会では負けて悔しくて大泣きした。
- ・鍋屋田育成会大会でキャッチができて自信を付けた。火曜日の愛好会練習に参加している。
- ・仕事が休みの時はドッジボール指導に協力したい。
- ・人の話をきちんと聞けない性格。チームプレーで協調性を養ってほしいと願っている。
- ・元気が取り柄、表裏がない性格。火曜日に愛好会練習に参加している。声を出してプレーすることを教えたい。
- ・昨年12月に入会して楽しくやっている。大会では学校や学年を越えて友だちと仲良くしている。

【指導者からのアドバイス】

- ・子どもたちの成長を感じる日々だ。逃げてばかりいた子が胸でキャッチしたり、両手投げの

子が片手で投げられるようになってきたり、膝をついてキャッチしたり…。休まずに練習を続けると運動神経は伸びてくる。続けてほしい。真剣にやっている子は必ずステップアップする。

- ・コーチはふざけている子を叱ります。家では褒めてほしい。
- ・小学校でドッジボールをやった子は中学でバレーやバドミントン、野球やバスケをやって活躍している。色々なスポーツを経験することが大事だ。
- ・ドッジボールをみんなで楽しんでいる。子どもたちには道を外れないように指導したい。
- ・練習に行きたくないと言っている子もいるが長い目で見てほしい。「やめてしまえ」ではなく、子どものやる気を待って励ますことが大事。
- ・2年の頃、ボールが顔に当たって怖い、練習に行きたくない…と言っていたが、3年になってやる気が戻ってきた。今は熱心に通っている。
- ・チーム競技は勝った時の喜びが大きい、みんなで喜びを分かち合える。大会で試合に勝って戻ってくる子どもたちの笑顔を見るのが嬉しい。
- ・夏休みの自由研究に「ドッジボール」を選んだ。友だちを増やしたい、仲良く遊びたい、カッコ良くプレーしたい、と言っている。
- ・フレンドリードッジは「遊び」を大事にしている。低学年でしっかり遊んだお子さんは高学年になって愛好会に進んだ時、真剣勝負ができる。4年生になったら是非、愛好会へ入会してほしい。
- ・徳間ドッジボールは監督コーチの「集団指導」が特徴です。悩み事、相談事は遠慮なくそれぞれの指導者へ。ケガの連絡は確実に。
- ・大会の写真撮影はなるべく他チームの選手の顔が映り込まないように。
- ・